

チャイルドシート前面衝突安全性能試験の評価方法(案)

(1) 評価区分

優	が4つの場合。×が1つでもある場合は除く。
良	が3つ、○が1つの場合。×が1つでもある場合は除く。
普通	「優」、「良」及び「推奨せず」に該当しない場合。
推奨せず	評価項目の中で1つでも×があった場合。

(2) 評価項目と評価方法

<乳児用>

評価項目	個別評価方法	評価
衝突後のチャイルドシート取付部等の破損状況	破損なし	
	軽微な破損あり(亀裂等)	○
	本来の構造をとどめず	×
衝突直後のチャイルドシートの背もたれの角度	60° 角度	
	60° < 角度 70°	○
	70° < 角度	×
衝突直後のダミーの頭部先端部の移動位置	シートバック上端面内	
	シートバック上端面から 73mm 以内に移動。	○
	シートバック上端面から 73mm を超えて移動。	×
衝突時にダミーにおいて計測される胸部合成加速度	55G(539m/s ²) 胸部合成加速度	
	55G(539m/s ²) < 胸部合成加速度	○
衝突時にバックルが解離したか。		×
衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出したか。		×

<幼児用>

評価項目	個別評価方法	評価
衝突後のチャイルドシート取付部等の破損状況	破損なし	
	軽微な破損あり(亀裂等)	○
	本来の構造をとどめず	×
衝突時のダミーの頭部移動量	550mm 移動量	
	550mm < 移動量 700mm	○
	700mm < 移動量	×
衝突時のダミーにおいて計測される頭部合成加速度	80G(785 m/s ²) 頭部合成加速度	
	80G(785 m/s ²) < 頭部合成加速度	○
衝突時のダミーにおいて計測される胸部合成加速度	60G(588 m/s ²) 胸部合成加速度	
	60G(588 m/s ²) < 胸部合成加速度	○
衝突時にバックルが解離したか。		×
衝突時にチャイルドシート本体が座席ベルトから放出したか。		×
衝突時において、腰ベルトが腹部等身体の弱い部分を圧迫する等ダミーに危害を与える恐れがないか。		×